

進路だより

第1号
平成30年7月23日
編集発行
いわき光洋高校
進路指導部

進学ガイダンス実施

二十校から講師を招聘

六月十九日(金)、期末考査終了後に進学ガイダンスが行われました。県内から福島大学、会津大学など六校を、また県外からも駒沢大学、国際医療福祉大学など十四校をお招きし、各校の先生方から学校および学部学科の紹介などをしていただきました。中には、学科改編や新規開設予定学部など、最新の情報を提供してくださった学校もありました。今回のガイダンスは進学を希望するすべての一六生が、一人二回以上のガイダンスに出席する二部形式で行われました。学部系統が全く異なる二校を選



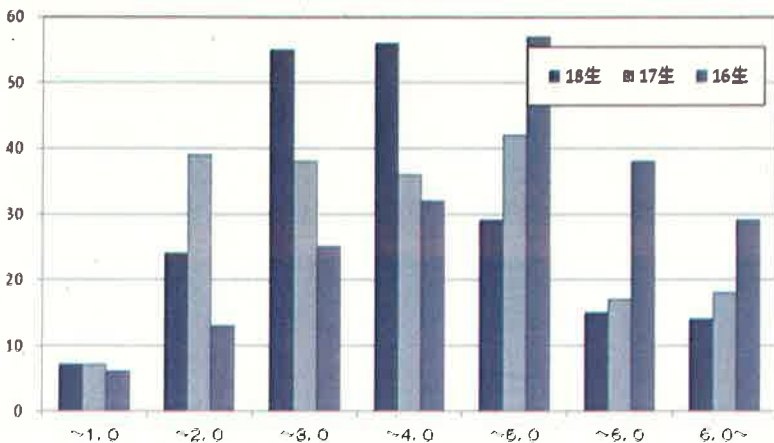
校を決定するのになら複数の上級学校についてその説明を直接受けられることが、この点でもありがたいことです。説明を通して光洋生にあつたアドバイスや先輩方の情報を得られる場合も多々あります。今回は実施の時間帯や形態を昨年度と変更したこともあり、一・二年生の参加者が少なかつたことが残念でしたが、このような貴重な機会を積極的に活用し、いろいろな情報を自分の手足で得ようとす

る前向きな姿勢を持つてほしいと思います。なお、夏季休業中には多くの大学・短大・専門学校がオープンキャンパスや学校説明会を実施します。進路を決定する際は、実際の施設・設備を自分の目で見て実際に体験し、確認することが非常に大切です。可能であれば保護者と一緒に参加し、後悔のない進路選択ができるようにしましょう。



第一回学習時間量調査 集計結果

五月十七日から八日間におわたつて行われた学習時間量調査の結果がまとまりました。グラフの縦軸は人数を、横軸は時間を示しています。各学年の平均学習時間は一年生が三・



学習時間 やや増加傾向

二年生には、平均時間が六時間を超えた生徒が三十名近くいました。毎年のことですが、三年次の一学期末考査は評定平均を上げる最後のチャンスといふことで粘り強く学習に励む生徒が多いようです。この期間に取り組んだ姿勢で本格的な受験勉強に突入すれば必ずよい結果が得られるはずですが、今後継続して学習を積み重ねていってください。また、トータル学習時間量だけでなく、時間の使い方にも目を向けていきましょう。一日の中に何度となくある小さな「すきま時間」を無駄にしてはいませんか。短い時間だからこそ集中して効率よく取り組めることもあります。自身の生活スタイルを見直し、「すきま時間」として有効に使える時間を捻出してみたいから始めてみましょう。

進路指導部より

進路指導主事 遠藤 明緒

現在の日本経済は好調で経済の循環がよいのに対し、空前の人手不足であるとされています。それを反映し、高校生及び大学生の就職状況は良好です。特に今年3月に卒業した大学生の就職率は88%で、大卒就職率の調査が始まって以来の好成績だそうです。全国の高校生の大学の進路希望状況もそれに追隨しています。全体としては「文高理低」と言われる状況で、文系に人気が集まっています。企業経営を学ぶ経済・経営学部系列、企業・公務員のどちらにも必要となる法学部などに人気が集まっています。教員系や国際系列などがそれに次ぐ人気です。但し、注意するのは国公立大学での文系学部定員削減や私立大学の定員厳格化により文系全体の入試では難

化が予想されていることです。理系に目を向けると、工学部や資格取得の見込まれる医療系の大学以外では、総じて希望者が減っています。とは言い、理系の就職先は好調であり、受験の負担は文系より低いと言えることから、自分の志望がはっきりとしている生徒には好機であるといえるでしょう。就職に目を向けると、人手不足を反映し、例年より求人客数は増加しています。選ばなければ仕事はあるというのが現状です。しかし、人気の事務系の仕事や安定した企業に就職するには学力が求められるのが実情です。どういった進路希望を達成するにも学力が基礎となっていることは間違いないと思います。夏休みのがんばりを期待してまいります。

職業講話

〜ようこそ先輩〜

七月十日(火)放課後、いわき中央警察署の警察官が二名来校し、職業講話をしてくださいました。一名は本校のOBで光洋高校を卒業後、警視庁に入庁し、現在は復興支援特別出向としていわき中央署に勤務されています。福島県警の採用試験を受験する生徒をはじめ、大学進学後の進路として警察官を考えている生徒など十二名の生徒が参加しました。警察官として、また一人の社会人として使命感を持って働く先輩の話に、参加した生徒はみな熱心に耳を傾けていました。



勤務中、非常に緊迫した場面に遭遇した時の状況を淡々とリアルに伝える姿や、大変さの中にある大きなやりがいについて熱く語る姿は、とても頼もしいものでした。講話終了後も

二学期も多くの進路行事が予定されていますが、その中でも進路講演会は、毎年多くの生徒が大きな刺激と感銘とを受け、貴重な機会です。今年度は講師に小児科医の吉岡秀人先生をお迎えします。吉岡先生は、ラオス・ミャンマー・カンボジアなどの発展途上国において多くの貧しい人たちに無償で医療支援を行っています。

進路講演会

乞うご期待!

「死にゆく子どもを救え」これは吉岡先生の多数ある著書の一冊につけられているタイトルです。何事もなく生きる私達に吉岡先生はどんなメッセージを下さるのでしょうか。国境を超えて活躍する吉岡先生の講演を、医療系、国際関係に興味がある生徒だけに

でなく、すべての光洋生がしっかりと聞き、日本人としてこれからの国際社会をどう生きてゆくべきか、真剣に考える機会となることを願っています。



医療活動を行う吉岡先生

【2学期の主な進路行事】

- 8/30(木) 第2回学習ガイダンス (17生)
- 9/ 6(木) センター試験校内説明会 (16生)
第2回進路希望調査
- 9/13(木) 第2回学習ガイダンス (16生)
- 9/16(日) 就職試験開始
- 9/21(金) センター試験申込校内締切 (16生)
- 10/23(火) 進路講演会
- 11/ 7(水) いわき明星大学訪問 (18生)
- 11/11(木) 大学模擬授業 (17生)
- 11/21(水)~29(木) 第2回学習時間量調査

【スマホでできる予習】～吉岡先生の活動をのぞいてみよう～
 Twitter ジャパンハート @japanhearttokyo
 Facebook ジャパンハート (Japan Heart)
 Youtube ジャパンハートチャンネル
 ブログ 発展途上国の子供を救え! 小児外科医吉岡秀人の戦い
<https://japanheart.exblog.jp/>